

駐日各国大使の地方視察について

平成 23 年 10 月 21 日
儀典官室

外務省は、平成23年10月6日(木)から8日(土)までの日程で、岩手県及び宮城県との共催で、駐日各国大使による岩手県及び宮城県への視察訪問を実施しました。

駐日大使の地方視察は、従来より、駐日各国大使を対象に地方の文化、産業等、地方の魅力を紹介するため、外務省と地方自治体の共催で実施しています。

平成23年度は、東日本大震災後の被災地の復興支援、観光促進、風評被害対策の観点から、岩手県及び宮城県での視察を実施し、21カ国27名の駐日各国大使夫妻に参加いただきました。

宮城県では、津波被害にあった仙台空港及び塩釜魚市場の復興状況を視察したり、秋保工芸の里で箸の漆塗りやハンカチの藍染めを体験しました。また、日本三景の一つとされる松島では天候にも恵まれ、湾内遊覧を楽しむとともに瑞巖寺及び円通院を見学しました。

岩手県では、今年世界文化遺産に登録された平泉の中尊寺と毛越寺を見学したり、海外へ売り出し中の南部鉄器の製造工場を視察しました。また、国際交流に積極的に取り組んでいる岩手県立花巻南高等学校において生徒との交流を楽しみました。



塩釜魚市場での競り風景



秋保工芸の里での箸の漆塗り体験



松島遊覧船からの風景。カモメに餌やり

【プログラム】

10月6日(木)

- 仙台空港の視察
- 秋保工芸の里での伝統文化体験

10月7日(金)

- 塩釜魚市場の視察
- 松島湾遊覧、瑞巖寺及び円通院の見学
- 及源鑄造(株)の視察
- 岩手県立花巻南高等学校での生徒との交流

10月8日(土)

- 平泉の中尊寺及び毛越寺の見学

来年度以降についても本事業を引き続き実施してまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。



南部鉄器製造工場の直売所にて



花巻南高等学校で生徒と交流